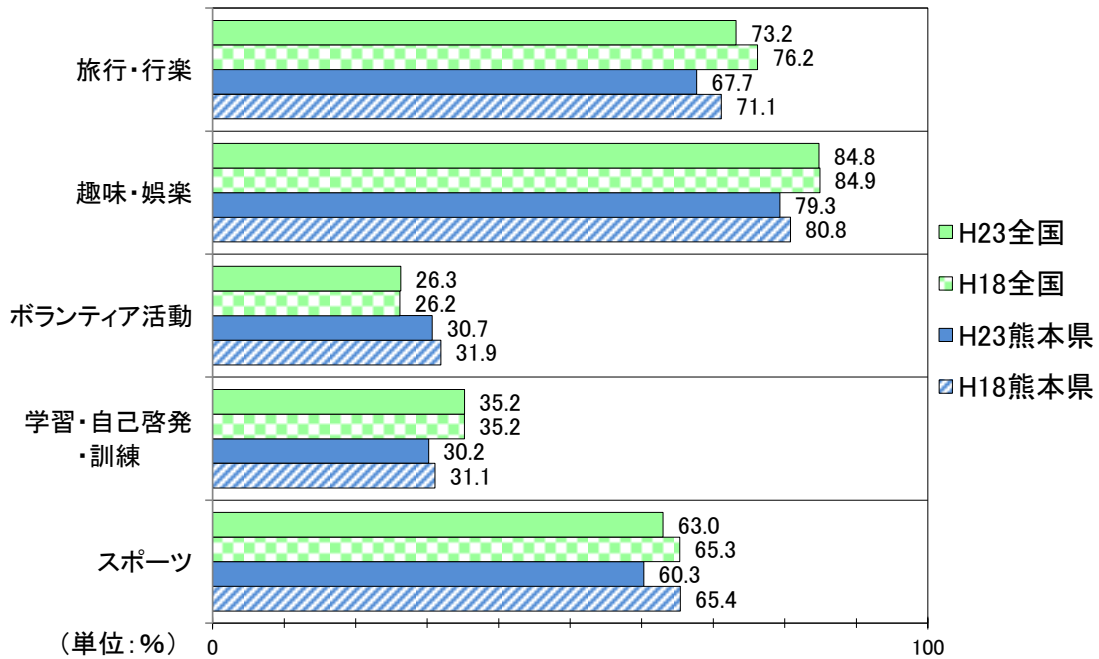


余暇活動の種類別行動者率(平成23年・平成18年)



解 説

【概要】

熊本県民の平成23年の余暇活動の種類別行動者率は、「趣味・娯楽」がもっとも高く、次いで「旅行・行楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動」、「学習・自己啓発・訓練」の順となっている。また、「ボランティア活動」は全国平均を4.4%上回っている。

○一日の生活時間の配分

一日の行動を20種類に分類し、時間帯別の行動状況を調査したもので、同時に2種類以上の行動をした場合は主に方に計上した。時間は該当する種類の行動をしなかった者も含む全員についての総平均時間。

○スポーツ

余暇活動としてのスポーツであり、学生の体育授業や職業スポーツ選手が仕事として行うものは含まれない。

○スポーツ行動者率

年間スポーツ行動者数÷10歳以上人口×100

○学習・自己啓発・訓練

学級・講座・教室など、自分の教養を高めたり、仕事に就くために行うもので、社会人が仕事として行うものや学生が学業として行うものは含まない。

○ボランティア活動

報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して、地域社会や個人・団体の福祉増進のために行う行動。

○休養・くつろぎ

家族との団らん、仕事場又は学校の休憩時間、おやつ・お茶の時間、うたたね、食休みなど。

○趣味・娯楽

映画・美術・スポーツなどの観覧・鑑賞、楽器の演奏、手芸、華道、庭いじり、囲碁・将棋、読書など。

○交際・付き合い

訪問、来客の接待、会話、会食、知人との飲食、冠婚葬祭・送別会・同窓会への出席及び準備、見舞い、友人との電話、手紙のやりとりなど。

資料出所	調査期日	調査周期
「社会生活基本調査」 総務省統計局	平成23年10月20日	5年